

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：一般社団法人資源循環推進協議会（略称 RRC）

一般社団法人資源循環推進協議会の概要

- 当協議会は、世界規模でグリーン・トランスフォーメーション（GX）の実現に向けた投資競争が加速する今、カーボンニュートラルや資源制約リスクへの対応策としてサーキュラーエコノミーを捉え、**国際競争力を有する資源循環市場の創造**を目指します。
- 環境省や経済産業省と連携し、製造・販売事業者、排出事業者、収集・運搬事業者、再資源化事業者、金融事業者、省庁、自治体、有識者、関連団体など、**2025年1月時点で238者が参画**、資源循環の各主体者との協働を通じてサーキュラーエコノミーの確立に向けて必要な「政策提言」、「社会実証・実装」、「情報の共有・発信」に取り組んでいます。関連リンク：[2024年次報告書](#) | [役員一覧](#) | [加盟企業・団体](#)

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する取り組み

- 会員間での議論や社会実証・実装を行うワーキンググループには、「**脱炭素型資源循環を実現するプラスチックのマテリアルリサイクルの推進**」、「**脱炭素・低環境負荷な地域循環モデルの創出**」をテーマに設定した活動が存在しています。プラチナ森林産業イニシアティブに関わるバイオマス資源や再資源化を通じた環境配慮型の化成品の早期実用化を推進する取り組みが行われています。
- 事業の遂行に関して理事会に助言する役割を担う「**評議員**」を新設し、**評議員議長に小宮山 宏 プラチナ構想ネットワーク会長**、**評議員には資源循環の関係省庁の元事務次官の方々が就任**しています。 | [評議員一覧](#)
- プラチナ構想ネットワークと相互協力了解覚書を締結**しました。双方の知識やネットワークを活用し、お互いの事業拡大や効率化を目指します。 | [お知らせ](#)

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

地域資源を活かした循環モデル・ビジネスの共創：プラチナ森林産業イニシアティブが掲げる「森林資源のフル活用による脱炭素社会の実現」や「地域再生」の方針は、当協議会の「地域循環共生圏の形成」や「脱炭素・低環境負荷な地域循環モデル創出」の活動と親和性が高いと考えています。また、当協議会の会員にはバイオマスプラスチックと炭酸カルシウムを配合したプラスチック代替素材の普及に取り組む事業者が存在しています。**バイオマス化学分野でのノウハウをお持ちの方々と当協議会が協働することで、新たな循環モデルやビジネス創出の可能性を探りたい**と考えています。

会員企業・団体との連携拡大：当協議会には、約240の多様な会員が参加しており、プラスチックリサイクルや炭素循環技術、地域モデル創出等、循環経済に関連する様々な取り組みが進行中です。今後、当協議会には森林資源の利活用や木質バイオマス、脱炭素型地域モデルに関心を持つ会員も増えてくると想定しています。プラチナ森林産業イニシアティブとも連携しながら、**当協議会の会員が保有する技術やノウハウを相互に活かす協働の場**を検討していきたいと考えています。森林資源を活用したプラスチック代替素材の開発やカーボンリサイクル製品の開発等、両者の強みを掛け合わせることによるシナジーを生み出したいと期待しています。